

### 一日の始まりはあいさつから 青少年健全育成町民会議の早朝あいさつ運動

菊陽町青少年健全育成町民会議の早朝あいさつ運動が1月10日に菊陽中学校、11日に武蔵ヶ丘中学校の各校門前で行われました。町民会議の会員延べ30人と登校中の生徒が「おはようございます」と声を交わしました。家庭部の村上緑さん(光団地)は「寒いときほど声を出して、みんなで温まりましょう」と話しました。あいさつは心と心がふれ合う大切なツールです。進んであいさつをして、人間関係が豊かで明るく安全な地域社会づくりにつながりましょう。



厳しい寒さの中、元気にあいさつする菊陽中の生徒

### さらなる地方創生に向けて まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議(会長・荒井勝彦熊本学園大学経済学部特任教授)を、2月2日に菊陽町役場大会議室で開催しました。会議では、平成27年度に策定した菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略に、新たな事業などの追加や修正などを加えた見直し案を町が提案。委員からは、子育て環境や高齢化に対する意見などが出されました。町は委員からの意見を参考に平成28年度版総合戦略を決定し、ホームページで公開する予定です。



積極的に質問や意見を述べる委員の皆さん

### 企業・事業者の復興・再生のために 菊陽町企業・事業者交流促進研修会

菊陽町企業・事業者交流促進研修会を2月6日、ブランドヴェールアベニュー熊本で開催し、約80人が参加しました。中小企業基盤整備機構九州本部復興支援アドバイザー西村哲雄さんが「復興・再生のための企業経営」熊本の中小企業の復活が、熊本復興の原動力!と題し講演。東日本大震災後に600社以上の企業を支援してきた西村さんは被災企業が復興するために何をすれば良いかを実例を交えながら話し、参加者はメモを取りながら真剣に聞き入っていました。



「復旧の先の『復興』を目指しましょう」と話す西村哲雄さん

### 今、目の前にある危機 青少年健全育成町民会議 全体研修会

平成28年度町民会議全体研修会を2月11日、中央公民館大会議室で開催しました。モバイル・ネットワーク研究所代表松川由美氏が「青少年のインターネット安全利用に関する最新事情」と題し講演。ネット社会ではちょっとしたきっかけで被害者にも加害者にもなり得ること、正しい知識を持ち正しく対処することなどを多くの実例を交えながら説明しました。環境部会長の満尾勝広さん(南花立)は「学んだことを安全・安心なまちづくりにつなげたい」と話しました。



地域住民や更生保護女性会など73人が参加しました

### 親子で工作、楽しいひととき えほんライブ&ゴリゴリゴリラをつくろう!

「えほんライブ&ゴリゴリゴリラをつくろう!」が1月29日、菊陽町図書館で開催され、親子連れなど約150人が参加しました。講師は、絵本や舞台美術など幅広い分野で活躍する芸術家ユニット「Tupera Tupera」の亀山達矢さん。亀山さんによる7冊の絵本の読み聞かせでは、映像が映し出される中、図書館スタッフとパート分けをして絵本の読み聞かせが行われました。ユーモアをたくさん交えた読み聞かせに、参加者は絵本の世界に引き込まれていました。



後半のワークショップでは、ペットボトルを使った楽器にもなる「ゴリゴリゴリラ」を製作。最初はうまく作れなかった子どもたちも、家族や友達と一緒に思いのゴリゴリラを完成させ、笑顔があふれていました。最後は、完成した「ゴリゴリゴリラ」をならしてみんなで大合奏。記念撮影やサイン会も行われ、参加者は亀山さんとの交流を楽しみました。亀山さんは「皆さんのすてきな笑顔をたくさん見られて良かった。また菊陽町図書館に来たいですね」とほほ笑みました。



1 亀山達矢さんと参加者全員で記念撮影 2 ユーモアたっぷりの「Tupera Tupera」の亀山達矢さん 3 ペットボトルを使った「ゴリゴリゴリラ」をみんなで楽しく作りました

### 認知症になっても安心して暮らせるまちに 認知症サポーター養成講座

町では認知症を理解し、認知症の人やその家族を地域で支える取り組みの一環として、認知症サポーター養成講座を平成18年から開催しています。現在町では約6千人のサポーターが誕生しています。1月31日、2月17日には菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校の1年生を対象に講座を開催。講義や先生たちによる劇を通じて認知症の種類や症状、接し方、認知症サポーターの役割などを学びました。生徒は「今日学んだことを生かして、家族や近所の人に優しく接したい」「困った人を見かけたら助けたい」などと話した。

今年度から各種団体の他に地域住民を対象とした講座を11月4日、2月16日に開催し、地域の支援の輪が広がっています。受講者には、認知症サポーターの証しであるオレンジリングを配布しました。講座は、町内在住または勤務、在学している人であればどなたでも受講できます。講座内容や申込方法など詳しくは、町ホームページをご覧ください。町主催講座の日程は広報をご覧ください。町ホームページでお知らせします。



1 先生の迫真の演技を真剣に見る生徒(菊陽中) 2 だまし絵をとおして認知症の人の気持ちを理解する生徒(武蔵ヶ丘中) 3 光の森町民センターでの講座開催。脳を活性化させる「指先体操」に取り組む受講者





### 広がる視野 助け合う心を学んだ

#### 前田祐里さんが表敬訪問

青年海外協力隊として平成27年1月～10月にバン  
グラデュ、平成28年3月～平成29年1月にアフリ  
カのマラウイに赴任していた前田祐里さん(馬場)が帰  
国し、1月17日、町長に活動を報告しました。障が  
いのある子どもにパソコン指導をした前田さんは「現  
地では障がいや外国人の区別もなく、当たり前に関  
係が築けています。今後ともパソコンを使わずにいる人  
をサポートしていきたい」と前を向きましました。



マラウイで撮影した写真のカレンダーを持つ前田祐里さん(中)

### お話に笑顔いっぱい

#### おはなしの森さんさん「冬のおはなし会」

菊陽町図書館ボランティアグループ「おはなしの森  
さんさん」による冬のおはなし会が1月15日、同館  
で開催され、親子連れなど約70人が訪れました。

おはなし会は、ギリシャの昔話『小鳥になった美  
しい妹』の語りで始まり、絵本や紙芝居、詩の朗読、パ  
ネルシアターなどで、いろいろなお話が披露されまし  
た。最後のブラックパネルシアター『一寸法師』では、  
パネルに光る鮮やかな画面にじっと見入る子どもたち  
の姿が見られました。



『いばらなくなった魚』をお話するおはなしの森さんさん

### 地震で延期も元気にプレー

#### 第15回ふれあいミニバレーボール大会

ふれあいミニバレーボール大会が2月5日、菊陽中  
体育館で開催されました。震災の影響で冬の開催に  
なりましたが、27チームが寒さに負けない元気なプレー  
を繰り広げました。ロッフェルママAの若松美香  
さん(にじの森)は「緊張しましたが、持ち前のパワー  
とチームワークで頑張った」と笑顔で話していました。  
【優勝】40歳以上女子「カレンズA」、39歳以下女子  
「ロッフェルママA」、40歳以上男子「BEAT2」、  
39歳以下男子「TKLベアーズ」



声を出してチームワークを発揮する参加者の皆さん

### 鬼は外！福は内！

#### 三里木保育園「豆まき会」

三里木保育園の豆まき会が2月3日、同園で行われ  
ました。園児109人は保育士による劇「おなかの中に  
鬼がいる」を鑑賞後、節分の由来などを勉強。その後  
園児はティッシュペーパーの空箱や封筒で作った鬼の  
お面をかぶって、年少児を脅かしに行きました。怖い  
鬼が現れると、園児は豆をまいたり逃げ回ったり泣い  
たりと大騒ぎ。工藤朝香さん(中代)は「豆まきして、  
自分の中のけんか鬼と緊張する鬼をやっつけた。小学  
校でもお友達に優しくしたい」と話していました。



金棒を持った鬼へ力いっぱい豆をまく三里木保育園の園児たち



### 英語で夢を伝え合おう 菊陽南小学校「小学校英語教育研究推進校公開授業」

小学校英語教育研究推進校公開授業が  
2月8日、南小学校体育館で開催されま  
した。県内外の教員など63人が参加。南  
小6年生11人は電子黒板やタブレットパ  
ソコンなどを活用し、友達や教員に自分  
の夢などを英語で伝え合いました。最後  
に児童数人が画像や動画、ジェスチャー  
を駆使して夢を発表。保育士が夢とい  
う坂上玲衣さん(井口)は「緊張したけど  
しっかり夢を伝えられた。英語だと知ら  
ない人とも話せたし、みんなの夢も分  
かって良かった」とほほ笑みました。



画像や動画を見せながら英語で夢を伝え合う南小児童

第12回菊陽町南部町民センター講座発  
表会(坂田輝明利用者連絡協議会会長)  
が1月22日、同センターで開催されまし  
た。ことは、熊本地震を乗り越えて6  
月20日から講座がオープンし、学習を重  
ねて当日を迎えました。展示部門では、  
子ども硬筆、手作りアートなど5講座を  
展示。ステージ部門では、フラダンス、  
健康体操、歌謡、日舞など12講座が発  
表しました。日ごろの成果が会場いっぱい  
に披露され、約250人の家族連れや地  
域住民でにぎわいました。



習字の展示を見る家族連れ

### 学習の成果を発表 南部町民センター講座発表会

### みんなで楽しい時間 東部町民センター講座発表会

東部町民センター講座発表会が2月12  
日、地震の影響で同センターの多目的  
ホールが使えず、南部町民センターで開  
催され、講座生や地域住民194人が参  
加しました。なかよし園園児によるダン  
スや講座生による健康体操、カラオケ、  
男の料理教室、ヨガ教室の発表、民謡、  
人権劇などが行われました。瀬上むつ子  
さん(大堀木)と林谷冬美さん(ひばりヶ  
丘)は「ヨガで姿勢も良くなった。今回  
皆さんと気持ちよく一緒にできてうれし  
かった」と笑顔で話しました。



ヨガの動きを発表し、来場者みんなで体を動かしました

### 税の仕組み学ぶ 菊陽西小学校「租税教室」

菊池法人会(山内彰雄会長)主催の租税  
教室が2月10日、菊陽西小学校で開催さ  
れ、同校6年生142人が税の仕組みを  
学びました。菊池法人会は税の啓発や教  
育を進める地域の経営者からなる団体。  
授業では菊陽町図書館の建設費や勉強す  
るのにいくらの税金が使われているのか  
などを学びました。中西陽飛さん(沖野)  
は「税金のおかげで安心して生活でき、  
学校に行けて教育を受けられることが分  
かった。大人になったら学習したことを思  
い出して税金を納めたい」と話しました。



1億円の見本を持ち、「重い」と歓声を上げる西小児童